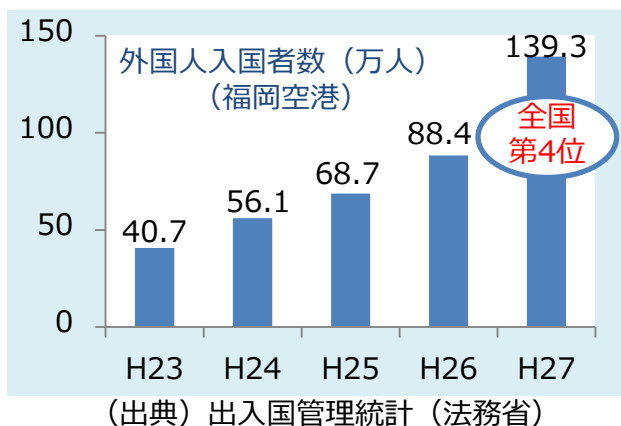




現状・課題

福岡市では、都市の成長を牽引する観光・MICEを推進しており、交流がビジネスを生むMICE拠点の形成や来街者にやさしいおもてなし環境づくりに取り組んでいる。

現在、福岡空港からの外国人入国者数は139万人。国内外の観光・ビジネス需要は年々高まっている。



百道エリアをはじめとして市内の主要なホテルやMICE施設には、福岡空港からのアクセスバスはなく、利便性が高いとは言えない状況。

	既存アクセス方法	運行状況
国内線	地下鉄	157往復/日
	路線バス(都心方面)	100往復/日
国際線	地下鉄	駅なし
	路線バス(都心方面)	46往復/日

大きな荷物を抱えて、乗り換えるのは不便との旅行者の声も。

福岡空港のアクセス向上は、喫緊の課題

規制緩和（空港アクセスバスに係る特例）

現行

- 運賃 上限認可（50km未満）
- 運行計画 事前届出（30日前）

特例措置

- 運賃 **届出**
- 運行計画 **事前届出（7日前）**

特例活用事業者

☆活用事業者名：(株)ロイヤルバス

新規参入

新規路線開設

- 本店所在地：福岡市博多区
- 事業内容：貸切バス事業、観光バス事業 など
- 設立：平成24年5月
- 従業員数：30名
- 売上高：約7億円（平成26年度）
- バス保有台数：32台
- 事業許可：一般乗合旅客自動車運送事業の許可取得済み（国自旅-第108号）

※事業実施にあたっては、グループ企業である(株)HEARTSと連携

<(株)HEARTSについて>

- ・福岡市を中心に観光、インバウンド事業を展開
- ・クルーズ船利用客の輸送に実績あり（現在、博多港寄港のクルーズ船利用客の約8割 [40万人] が(株)HEARTS手配のバスを利用）

特例活用事業者のポイント

- 今回、新たに路線バス事業に参入
- ニーズに応じた新規路線の開設
- (株)HEARTSとの連携により、インバウンド向けの観光バス運行等のノウハウを活かしたバスサービスを実施

空港利用者の利便性向上を図り、インバウンドの推進に貢献



百道エリア
(ヒルトン福岡シーホーク)

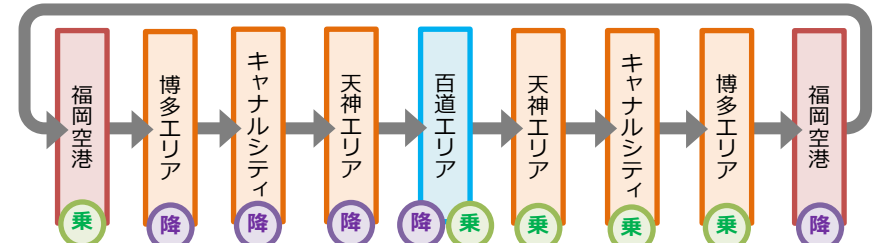


イメージ

● 運行事業者 (株)ロイヤルバス (福岡市博多区)

● 運行計画

・ 運行ルート (新規路線)



・ 運行時間 : 8時~21時まで1時間あたり1~2本を予定

・ 運行バス : 6台

百道エリア
(ヒルトンホテル)

天神エリア



1~2便/時間

天神エリア

キャナルシティ

博多エリア

博多エリア



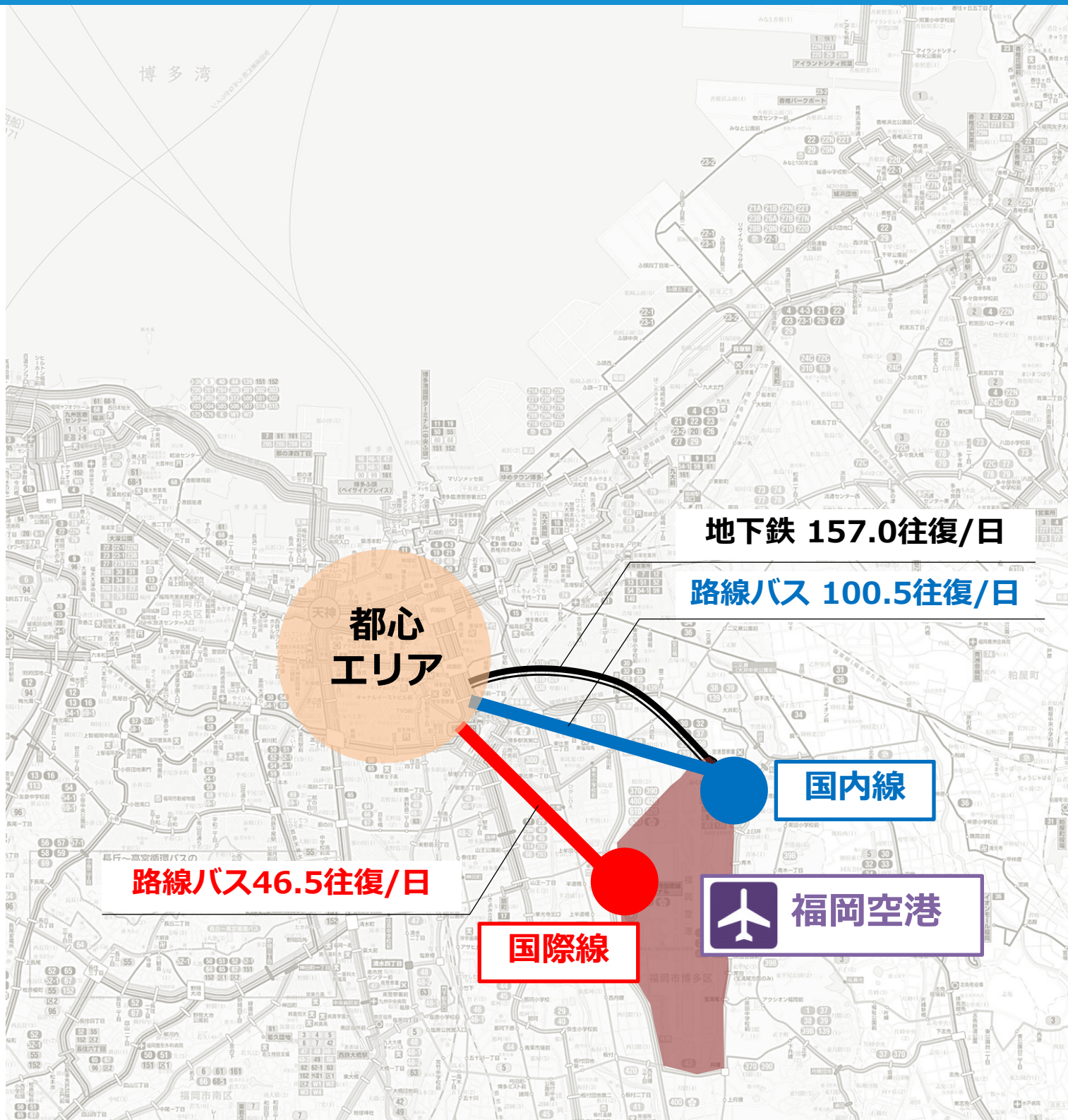
キャナルシティ
(福岡ワシントンホテル)



福岡空港(国際線・国内線)



福岡空港
(国際線・国内線)



地下鉄 157.0往復/日

路線バス 100.5往復/日

路線バス46.5往復/日

国際線

国内線

福岡空港

<凡例>

- 国際線
- 国内線
- 国内線
- 路線バス
- 路線バス
- 地下鉄

福岡空港（国内線・国際線）と都心エリアとのアクセス

1日当たり往復（平日）（H29.1現在）

路線バス(国内線) 計100.5往復/日

福岡空港（国内線）⇔ 天神
 便数 9.5往復/日
 料金 350円
 所要時間 約33分

福岡空港（国内線）⇔ 博多駅
 便数 91.0往復/日
 料金 260円
 所要時間 約13～20分

路線バス(国際線) 計46.5往復/日

福岡空港（国際線）⇔ 天神
 便数 23.0往復/日
 料金 310円
 所要時間 約35分

福岡空港（国際線）⇔ 博多駅
 便数 23.5往復/日
 料金 260円
 所要時間 約20分

地下鉄 157往復/日

福岡空港（国内線）⇔ 天神
 便数 157往復/日
 料金 260円
 所要時間 約11分

福岡空港（国内線）⇔ 博多駅
 便数 157往復/日
 料金 260円
 所要時間 約5分

※国際線ターミナルから地下鉄を利用するためには、空港内連絡バスを利用して、国内線ターミナルへ移動する必要がある。